

第4回 観音寺市民会館管理運営検討委員会議事録【要約】	日時 平成25年8月20日(火)19:00~21:00
	場所 働く女性の家1階 談話室
出席者	委員7名(欠席4名)、事務局4名、事務局補2名
議題	(1)第3回観音寺市民会館管理運営検討委員会 会議録について (2)事業計画について (3)その他
<p>1. 開会 開会のあいさつ。</p> <p>2. 委員長あいさつ 委員長あいさつ。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1)第3回観音寺市民会館管理運営検討委員会会議録について 資料を元に会議録について説明。修正内容を確認の後、内容を承認。</p> <p>(2)事業計画について</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の検討委員会の中で、観音寺市の文化芸術関係の事業費についての質問があったのでそれに対して説明する。 ・ 毎年おこなっている事業としては、市民文化祭、市民音楽祭、成人式の3事業で、予算は合わせて約450万円。これ以外に隔年で国際音楽フェスティバルをおこなっており、こちらは約800万円である。なお、新市民会館の事業費については現時点では未確定であり今後検討をおこなっていく予定。市としては、管理運営計画を新市民会館の管理運営に関する基本的な考え方や方向性を示すものとして位置づけている。今回の委員会の中で、事務局から各議題を提示させていただいて、委員の皆さまに具体的なご意見を頂戴しているが、そこから更に事務局で内容を整理したうえで管理運営計画としてまとめていく予定である。なお、管理運営計画については来年の5月に策定し、それに基づき市の担当部署が運営方法や事業など個別の事項について具体化させていくという方法を考えている。 <p>【委員質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この委員会では具体的な計画を決定するわけではないのか。 <p>【事務局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 細かいことは現時点では確定していないが、来年度以降、市で新市民会館開館に向けて、担当部署が設置される。具体的な事業内容は新たな担当部署が今回策定する管理運営計画に基づき決定していく。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この委員会の方針をまとめるためにも、具体的な例や意見も必要になる。 <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの委員会で様々な意見をいただいたが、委員会の有り方や進め方が明確でなかったために、具体的な業務内容に議論が集中してしまった。今回からは事前にブレインストーミングシートを配布し、そこに意見を記入していただき、その意見をプロジェクターに投影させながら協議をおこなう。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小、中、高の発表会に関してだが、父兄の方々は演奏を聞きにくるが、一般の市民はほとんど知らないのではないかと。新市民会館でこういった発表の場を提供することも必要だ。また、高知では漫画、徳島では俳句、四国中央市は書道が有名になっている。観音寺や新市民会館でも全国ネットで何か掘り上げていけるものがあると思う。 <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私の学校の場合は、先日サマーコンサートが終わったばかりだ。市民会館が取り壊された 	

ので、市立体育館でおこなったのだが、照明を業者に依頼しなければならなかったことや、体育館なのでエアコンの使用料として1時間1万円が必要になったということもあり莫大な経費がかかった。体育館の使用料だけで50万もする。今まで以上に経費がかさんでしまった。市内の学校の発表会などについては割安にさせていただけるとありがたい。

【委員質問】

- ・市民会館で開催した時はどうだったのか。

【委員意見】

- ・入場料金をいただいて、それに広告代を加えて概ねプラスマイナスゼロだった。

【委員意見】

- ・現場はお金が無い。強い私立などであれば保護者からの援助もあるのだろうが、なかなか難しい。子どもたちにとって発表の場は必要であり、どの分野でも同じだろうが、同じことをやっている人たちと交流することもとても大切だと思う。以前私は三豊市にいたのだが、5・6年前に三豊市内の吹奏楽の団体がマリンウェーブに集いイベントを立ち上げた例がある。そういったことができる、縦の繋がりができてよいと思う。「大きくなったらああいうふうになりたいな」とあこがれる場があるといい。マリンウェーブは格安で良心的、開館時間に関してもこちらの要望を聞き入れてくれてとてもやりやすかった。

【委員意見】

- ・議員の方や予算の決定権がある方が文化事業を観に来ない傾向があるのではないかと感じる。案内状を送るがなかなか来てもらえない。そういった状況でいくら案を練ってもかみ合わないのではないかと感じる。

【事務局回答】

- ・予算的な支援を得るためには、様々なところからの支持や理解を得ていく必要もある。また同時に、未来を担う若い世代の支持や理解を得て、将来的な観音寺の文化芸術の底上げをめざした事業も必要になるだろう。

【委員意見】

- ・国際音楽フェスティバルも最初から理解があったわけではないと思っている。2回くらい前から各学校で議員の方にご挨拶をさせていただいている。そうすると「これはいいことだ」と演奏も聴いてもらえたという経験がある。何かきっかけをつくらなければ、足を運んでもらうということは難しい。

【委員意見】

- ・少し冷めた言い方になるかもしれないが、どちらが主体かということだろう。議員の方も市民の意識が高くなれば興味を持たざるを得ない。まずは情報を広く伝えることが大切だと考える。主催者側は情報公開をしているつもりだろうが、それが広がっていない。市民や子どもたちがより文化芸術に目覚め興味を示すようになれば、必然的に議員の方の興味も高まる。これは、文化芸術に限ったことではなく、スポーツなどにもいえることだろう。興味を持ってもらえないという現状があるならば、これから市民、市の幹部の方、議員の方が興味を持ってもらえるように意識を改革していく必要がある、という方向で議論を進めるべきではないか。
- ・例えば、私は今回サマーコンサートをおこなっているという事は知っていたが、いつやっているのかという探す努力をしなかったという申し訳ない事実がある。もし情報を得ることができれば、時間があれば観に行くということもあつたらう。意識改革をおこなうという関係でいうと、情報をなるべく格安で広めることが重要だと思う。

【委員意見】

- ・個人的な活動の場合、近隣の合唱団へ案内状や招待状を送ったり、広告をいただいたお店にポスターを張っていただいたり、三豊ケーブルテレビにお願いして情報を流してもらうなどしている。ただそれだけでは全ての人知るという状態ではない。例えば、丸亀市民会館は邦楽やプラスバンドなどいろいろな団体を組織の中にかかえているので、違うジャンルで活動している団体や個人にも情報が流れていく。前回から何度も話しているが、新市民会館には、いろいろな団体が持っているネットワークを束ねる役割を担って欲しい。

- ・私が所属している団体では、当初からチケットに通し番号を付け、どこに何番から何番のチケットをお送りしたかを記録しておき、どこの地域のどこの団体から何名来てくださったのかデータを取っている。そこから読み取ると、四国中央、三好、まんのう、丸亀、琴平あたりからはじゅうぶん来てもらえる距離だ。

【委員意見】

- ・地元で小さな夏祭りがあったが、何をやるかは漠然としていて、やる気がある人となない人の差が大きいと感じた。意識の根っこを改革できればと思う。例えば、いろいろな国の音楽を取り入れた企画をやるとういう話がある。音大生と中学生の吹奏楽部との交流やアウトリーチも考えている。ごく一部で動くが、それに関連していろいろなジャンルの人が加わってきている。

【委員意見】

- ・昔を思い出してみると、自治会に芝居が来ると、当時は娯楽が少なかったからだろうが満席になった。また、私の自治会には年寄りが話し合えるサロンのようなものがある。まだ具体的にはなっていないが、観音寺音楽協会を広報していくためには、そういった施設や自治会館から要請があれば数人の歌い手や演奏家を派遣するというのもいいのではないかという話に傾きつつある。お年寄りたちが自治会館に集まって音楽を聴く機会があれば、目覚める人は目覚めるのではないかと思う。根っこの底上げの方向としてはそういった方法もあるのではないかと思っている。

【事務局質問】

- ・よく自治体が文化芸術に関する情報をホームページに掲載しているという例が多いが、皆さんはそういった情報はご覧になるのだろうか。

【委員意見】

- ・現在工事中なので今は市民会館のホームページは無いが、以前は使用料金や図面があった。これに関しては充実させることができるのではないか。わざわざ会館に赴かなくても情報を得ることができるので便利だ。

【事務局意見】

- ・全ての方がインターネットを使えるわけではないので、市の広報紙を活用するという方法も考えられる。

【委員意見】

- ・マリンウェーブで行事をおこなうと、「今度コンサートがあるようですが、どんな内容でしょうか？よければラジオで放送します。」とNHKから電話がかかってくる。その放送後はいろいろな所から電話がかかってくる。

【委員意見】

- ・四国新聞などは連絡すれば広告を出してくれる。

【委員意見】

- ・確かにそうだ。メディアに関しては自分たちから案内を出す。

【事務局質問】

- ・新聞社と共催というのはあるか。

【委員意見】

- ・私はない。

【委員意見】

- ・私はある。

【委員意見】

- ・私はあるが、後援だった。その他、市役所の記者クラブにも出しており、紙面に空きがあれば掲載してもらえる。

【委員意見】

- ・だいたいどの施設でも、各月の行事を一覧にまとめたチラシがある。その施設にいくと、それを見て面白い行事があるかどうか確認する。こういった情報を収集し発信する組織が必ず必要だと感じる。これを全家庭に配布するとなると莫大な予算がかかると思うので、

どこに置いて、どういうふうに、どういった人たちにいきわたるべきかを考えなければならない。

【事務局意見】

- ・他市の事例だが、月に1回程度、新聞の折り込みに「市民会館のイベント」というチラシを入れて広報をおこなっている施設もある。

【委員意見】

- ・新聞ではないが三豊ケーブルテレビは、わりと視聴している人が多い。それを市で年間ある時間帯を購入し、文化芸術、スポーツ、地域のイベントを流すというのはどうだろうか。インターネットについては、利用者の比率があるので。

【事務局意見】

- ・ケーブルテレビを視聴している市民も多い。また、コンサートがある場合は必ず掲載してくれる。だが、市が番組の枠を購入するというのは難しいかもしれない。現在では、休校情報や訃報情報のデータ放送はやっている。情報を持っている人が積極的に動けば、それなりの放送をしてもらえるように思う。

【委員意見】

- ・回覧板を利用するというのも考えられるのではないか。

【事務局意見】

- ・自治組織には行政からお願いできることは限られている。自治会長の判断によることが多い。

【委員意見】

- ・地域に面白いイベントがあつて、そこに広報活動が必要になる。市民会館や自治会館、大きさは違うが、いかに市民に喜んでいただける企画をおこなうことができるかが重要だと思う。

【事務局意見】

- ・それを新市民会館の管理運営計画の中に組み込んでいく可能性は十分にある。
- ・観音寺、四国中央、三好の3つのケーブルテレビの連携が進められている。また、ケーブルテレビ側も取材対象になるコンテンツを求めているはずだ。個人レベルだけではなく新市民会館も含めた活動として積極的に働きかけていくことは必要なのではと考える。
- ・宗教、政治、営業関係以外であれば、行政、教育委員会、新聞もかなり応援して下さると思う。そういう意味では、自治会館や回覧板を利用するというのは有効かもしれない。また、それは現在でも出来ていることのひとつだろう。

【委員意見】

- ・三豊市の地域ブログで「あしたさぬき」というものがある、合併前7町がそれぞれブログを持っていて、地域の情報を発信しており、とても充実している。閲覧数も多いと聞く。

【事務局質問】

- ・いただいた意見から、人材育成が重要になるということが読み取れるが、これについてはいかがだろうか。

【委員意見】

- ・照明や音響など技術的なことに関しては、今まで市民会館のスタッフの方と綿密に打合せをしながらおこなうことはできた。しかし、ロビー周りのスタッフに関しては自分たちで手配しなければならない。観音寺では市が主催するイベントであればボランティアで登録されたスタッフの方が手伝ってくださるが、個人の場合はそうではない。また、大きな施設であれば専門のロビースタッフがいらっしゃるが、観音寺ではそれは望めないだろう。しかし、ボランティアとして協力して下さる方はいらっしゃるのではないかと思う。きちんとコンサートのロビーではどういったことをしなくてはならないのかということを教えてくれる人材がいて、ロビー周りのスタッフを市民会館が育ててくれればと思う。作品を創る人だけでなく、進行をする人たちを育てる事業というのも必要。

【委員意見】

- ・文章のみで終わるのではなく、それを活かし市民会館を運営していかなければならない。

やはり、時間をかけて移動がない専従スタッフを育成することがより一層必要になってくるのではないかと思います。

【事務局質問】

- ・新市民会館が、コミュニティの場として生きていくためにはどういったことが必要と感じているか。

【委員意見】

- ・最近、祖父母と一緒に住まない家庭が増えているので、子どもとお年寄りがふれあえる場があればいいなと思っている。豊浜にそういった施設があると聞く。例えば、ある曜日そこに行けば、おばあちゃんがいて子どもとふれあえるというような会であったり、文化教室であったり、お母さんと子どもと一緒に訪れることができる子育て支援ができる場やそれに関連した企画や公演があれば行こうかなと思う気がする。また、子育てがひと段落して、祖父母もまだ元気で家のことに手が掛らなくなった方を対象とした趣味の世界を広げる講座やワークショップを企画していくということも必要だと考える。豊浜から高齢者の方が新市民会館まで訪れるのはなかなか難しいとは思いますが、それぞれの地域に合った楽しい場があればいいと思う。まだまだ漠然としているが「市民会館にいけば面白いぞ」と思ってもらえるような仕掛けがあるといいと思う。

【事務局意見】

- ・年配の方に積極的に来てもらうためには、交通に関しても配慮が必要になるだろう。

【委員意見】

- ・新市民会館は、地理的には非常に使いやすい位置にある。コミュニティバスもある。私の団体では年齢別の来場者調査もおこなっているのだが60～70代が45%だ。元気な方であれば、新市民会館は駅から直ぐなので出てくる方も多だろう。マリンウェーブは詫間駅からバスに乗っていかねばならず、バスの時間が開演時間とうまくリンクしていなかったりすると公共交通機関を利用しづらいということもある。ただ、観音寺は日曜日コミュニティバスが動いていないのが課題だ。

【事務局意見】

- ・海外の話だが、年配の方に来ていただくためにボランティアの方が各家庭まで車で送迎するという例がある。地域の力を借りることによって、幅広い方に来ていただく仕掛けをつくることのできるのではと思う。

【事務局質問】

- ・地元出身で文化芸術活動をされている方についてお伺いしたいのだが、OBやOGで活動されているかたはどのくらいいらっしゃるのだろうか。

【委員意見】

- ・先生になっている方も多。若い方が地元で活躍は始めているなど感じている。

【委員意見】

- ・現在、音楽学校に在学しているサックス奏者の方とその友人でマリimba奏者とソプラノ歌手の3名による公演をおこなったことがある。観衆はもちろん本人たちも感動していた。地元出身の活動家は非常に重要だと思う。

【事務局意見】

- ・普及啓発や育成型自主事業については積極的に実施していくべきだという共通した意見があると感じる。また、参加型や創造型の自主事業についても既存の市民音楽祭などを発展させていけるのではないかという考え方も読み取れる。最後に、さまざまな文化芸術作品を観賞する機会も必要だが、単に鑑賞機会を設ければよいということではないと思う。その地域に対してどういった文化芸術を提供していくべきなのかという意思を管理運営計画に組み込んでいかなければならない。

【委員意見】

- ・昔、地元プロデュースをおこなう会社があり、近隣のホールを巡回して公演することで有名な方も安く呼ぶことができ、そこで儲けたお金でクラシック公演していたことがある。

・観音寺音楽協会を立ち上げる時にいろいろ構想をねったのだが、その基本になっているのが会員制度で、ベースとなる資金は年会費として徴収し、安心して本当にやりたい演奏会ができるようにしようという考え方がある。

【事務局意見】

・他の地域との連携という話も出たが、市としても全国の例を参考にし、模索しながらもやっていたいかなければならないと考えている。

【事務局質問】

・観音寺市における文化芸術の土壌を育てていかなければならないという意見があったが、子どもたちに対してどういった事業をおこなっていくことが必要とお考えか。

【委員意見】

・国際音楽フェスティバルは音楽祭としては特異だと思う。普通であれば、コンサートに重心があるのだろうが、国際音楽フェスティバルのメインは学校で公演をおこなうことだ。今後続けていくうえで学校側と一緒に何かできないかと思っている。これは、音楽の聴き手を育てることが目的であり、音楽家を育成するための事業とはまた違った視点だ。

【事務局質問】

・市民会館の事業と学校との連携となると、学校の年間スケジュールの中に入れてくることになる可能性があると思うのだが、その点に関してはどうだろうか。

【委員意見】

・高松市のピアノコンクールをおこなうにあたり、著名な審査員がいらっしゃることになり、急遽9月に県内3ヶ所の学校でコンサートをしてくださることになったのだが、会館からスタンウェイピアノを運ばなければならぬということになった。しかし、一流の方の演奏であれば、学校も対応して下さり全校生徒で聴くことになった。

【委員意見】

・小学校も中学校もそうなのだが、行事が多くスケジュールが詰まっている。しかし、大事なものは大事だ。子どもたちが本物に触れるという機会はすごく重要なこと。そういった経験ができる観音寺市の子どもたちはいいなと思う。素晴らしい種をまいてくださっている。次の段階として、一緒に参加できるようになればもっと楽しいだろうが、またそれなりの準備が必要になるので出来るかどうかはその学校や時期によるのだろう。

【委員意見】

・国際音楽フェスティバルでも指導などの企画もおこないたいのだが、今は学校をまわって演奏するだけでいっぱいなのが現状だ。なんとか時間をつくれなかと考えている。

【委員質問】

・観賞型に関しては、運営組織がどうなるかというのは別問題として、財源も必ず必要になる。ただ、全て採算性があるものになってしまってもいけない。バランスをどのように取るかが大切だ。運営組織がどうなるかわからないが、企画をしていく段階で最低限こういったことはやって欲しいということを運営組織に伝えなければならないのだろうか。

【事務局回答】

・基本的にはそうなる。例えば、指定管理者が民間会社になった場合、しっかりとした意思を持って、指定管理者に事業方針や事業に対する考え方を伝えなければならない。

【委員意見】

・市民音楽祭も予算があった時期は、全国クラスの高校生プラスバンドの団体に来ていただき招待演奏を何回かお願いしたことがある。高校生の演奏する姿はもちろんだが、彼らの行動も感動的だった。利用した楽屋などを清掃するだけでなく、窓まで拭いてくれた。それだけでなく、リハーサル風景や指導方法などを見聞きすることでもものすごく勉強になった。

【委員意見】

・ただ、集まって事業をするだけでなく、それにプラスして何かをいれこまなければいけない。

【事務局意見】

- ・最近の施設では自治体の資金に頼るだけでなく、企業スポンサーや文化庁の助成金など外部資金に積極的に働きかける努力も必要になる。

【委員意見】

- ・来場してくれた方の情報を収集し分析することも必要だと感じる。年齢層、地域、情報収集元など、どういった方がどういった事業に来てくれたのかを活かして次につなげるということは重要だ。

【委員意見】

- ・三豊市の遺跡で有名な方をお呼びして薪能おこなったのだが、たいへん熱心な方がいらして、出演者の方に直接連絡してこの企画をおこなう意義を伝えたという。その結果、数分の1の予算で出演していただけることになり、野外公演の広場がいっぱいになる大成功な企画だったそう。
- ・観音寺音楽協会はここ数年会員数が増えていない。年齢がエスカレーター式に上がっている。音楽が好きの方でも会員になっている方は数名、公演に参加する方もそれまた数名、というのが現状。運営費も寄附がなければ成り立たない。底上げがなければ会員は増えない。特に、若い方が参加できる運営の仕方がなければならない。

(3)その他

【事務局説明】

- ・今回は、プレオープニング事業、開館記念式典、開館記念事業についての資料を準備するのでご意見をいただきたい。

【事務局説明】

- ・第5回検討委員会については、9月17日(火)19時から開催を予定している。場所は現在調整中なので、後日案内状にてお知らせする。

【委員意見】

- ・施設が完成したあかつきには、市民に内覧会をおこなって欲しい。

【事務局回答】

次回の議題にある、プレオープニングイベントにておこなえることのひとつだろう。

4. 閉会

閉会のあいさつ。

以上